

土浦平和の会

ニュース NO・30 ? q q 6年5

月

発行 土浦平和の会
事務局 土浦市神立町2664-2
TEL 31-9122

土浦平和の会理事
福田 勝夫



私の連休は、5年ほど前から平和の旅を続けてきました。今年は土浦平和の会の山口さんのお誘いで軽井沢スプリングセミナーに参加しました。4月28日の朝9時、上野発特急あさま5号で私たちは一路信州小諸駅へ、話もはずみビールもはずんでアットいうまに小諸着。駅前で「基地のない平和な沖縄をめざす東京の会」の皆さんと合流、現地の皆さんがすでに懐古園内に花見の場所を取って待っていてくれました。いまが満開の桜の下で車座になって大宴会、泡盛で盛り上がり最後はごぞんじ「カチューシャ踊り」。太田さんガンバレ、俺も応援しているゾーと声がかかる。

軽井沢周辺の名所を案内していただき、今晚の宿泊先民宿あさぎり荘へ到着、早速風呂へドボン。なんといっても旅の楽しみは風呂が一番。夕食をはさんで沖縄出身の皆さんとの交流会をしました。その概略を紹介します。

「私の母は、私をまだ腹の中に抱えているときに、突然米軍のブルドーザーがやってきて、家を倒し土地を奪いました。そのショックで母は私を生んでも母乳が一滴もでませんでした。」「ある時、家の前に米軍のヘリコプターが突然に墜落し兵士が負傷している。そのまま置くと命があぶない。近所の医者が手術して落ち着いてから基地に届けると、米軍のドクターはなんのお礼も言わず、私たちの前で診察台に乗せて、日本の医者は信用ができないのか、せっかく縫った手術跡の糸を抜いて縫い直す。こんな屈辱は許せない」と肩を震わせて語ってくれました。「私の弟は、親しく交際している人がいました。この大切な彼女を米兵がおそいました。この事を話すのは初めてです。ヤマトンチューは、この事をわかりますか。」まだまだ話は続きますが、とても涙なしには聞けませんでした。

沖縄県は、復帰前も復帰後も銃剣とブルドーザーで米軍が一番使いやすい土地をつぎつぎに奪いました。戦後51年間基地は強化され、爆音と軍靴が鳴り響く治外法権のこの島。いま、日本全国でオキナワンチューとヤマトンチューが力を合わせて連帯の輪を強化できるなら、平和で基地のない沖縄を取り戻せる。古い歴史と豊かな自然、琉球王国の時代から武器を持たないでたたかう民衆の力、このおおらかな「沖縄の心」。この旅で大切な人がまた増えました。そして沖縄に親戚もできました。茨城でも「沖縄と連帯する会」を楽しく、ちょっと無理して急いで作りましょう。

見学したところ

小諸駅近くの造り酒屋「浅間嶽」

懐古園内「島崎藤村記念館」

「小諸義塾」長野県の歴史がわかる

「軽井沢追分教会」

お世話になった人

土屋夫妻・平山夫妻・東京の会のみ

なさん・山口雪雄さん・民宿「あさ

ぎり荘」

土浦平和の会総会が 終わりました



4月21日(日)土浦平和の会総会は1中地区公民館で行われました。総会議案は会員全員に届けられたとおもいますが、お読みにになりましたでしょうか。昨年は戦後50年の多彩な取り組みがありましたが、今年も沖縄の基地縮小返還問題と安保再定義、本土への基地移転、自衛隊基地の米軍共同使用など大きな問題が山積しています。総会の中でも、土浦・阿見の基地調査が必要だという意見が出され、そのための学習会を計画することになりました。今年も力を合わせてがんばりましょう。(事務局から)

行事ごよみ

- 5月 3日 安保学習会(7団体共催)亀城プラザ
- 5月14日 土浦平和の会理事会(1中地区公民館)
- 5月16日 ポッポの会百里見学
- 5月19日 県平和委員会大会(石岡)
- 6月 8日 日本平和委員会大会(奈良)
- 6月 9日 土浦母親大会(亀城プラザ)